

各 位

静岡大学大学院工学研究科

本研究科の学生募集要項については、2 ページ以降に掲載しておりますが、実際の出願にあたっては下記の請求方法により、学生募集要項を入手し、所定の様式により出願をお願いします。

記

学生募集要項の請求方法について

(1) 窓口で請求する場合

学生募集要項は工学部教務係で配付します。
配付開始時期は5月10日頃を予定しています。

(2) 郵送にて請求する場合

定型封筒（長形又は角形）の表の左下に、「大学院工学研究科募集要項請求」と朱書きし、裏面に請求者の郵便番号、住所、氏名を記入の上、次の「返信用封筒」を同封して工学部教務係宛に送付してください。

募集要項は無料ですが、郵送料についてはご負担をお願いします。

「返信用封筒」（本学からの募集要項送付用封筒）

- ・規格 角形2号封筒（33cm×23.5cm）
- ・請求者の郵便番号、住所、氏名を明記
- ・240円分の切手を貼り、折りたたんで大学に送付する封筒に入れてください。

(3) 担当窓口及び請求先

〒432-8561 浜松市中区城北 3-5-1

静岡大学工学部教務係

電話 (053) 478-1010

平成24年度
大学院工学研究科修士課程
学生募集要項

一般入試

一般入試【平成23年10月期入学】

自己推薦型入試

社会人入試

外国人留学生入試

国立大学法人 静岡大学

目 次

専攻別募集人員	1
静岡大学のビジョン・静岡大学の使命	2
工学研究科のアドミッションポリシー	2
■ 一般入試	3
■ 一般入試【平成23年10月期入学】	14
■ 自己推薦型入試	16
■ 社会人入試	22
■ 外国人留学生入試	28
□ 障害等のある入学志願者の受験特別措置	34
□ 個人情報取扱い	34
□ 検定料の返還について	35
□ 工学研究科修士課程概要	36
□ 浜松キャンパス案内図・建物配置図	巻末

専攻別募集人員

工学研究科修士課程

専攻名	分野名	募集人員
機械工学	航空宇宙 流体・環境 熱エネルギー 材料解析 計測情報 知能ロボット メカトロニクス 生産加工	70名
電気電子工学	電気エネルギー 電気システム 電気電子材料 電子物性工学 光・波動エレクトロニクス 情報処理システム	70名
物質工学	材料科学 化学システム工学 工学基礎	65名
システム工学	システム工学 応用数学	37名
事業開発マネジメント ※1	事業開発マネジメント	20名
5専攻		計 262名

※1：事業開発マネジメント専攻については別冊をご覧ください。

静岡大学のビジョン

「自由啓発・未来創成」

静岡大学は「質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携し、ともに歩む存在感のある大学」を目指します。

(詳しくは <http://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/mission/index.html> を参照ください)

静岡大学の使命

教 育：地球の未来に責任をもち、国際的感覚を備え、高い専門性を有し、失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれ、豊かな人間性を有する教養人を育成します。

研 究：世界の平和と人類の幸福を根底から支える諸科学を目指し、創造性あふれる学術研究を行います。

社会連携：地域社会とともに歩み、社会が直面する諸問題に真剣に取り組み、文化と科学の発信基地として、社会に貢献します。

工学研究科のアドミッションポリシー（求める学生像）

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び、人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし、課題発見能力と問題解決能力を備え、地域社会だけでなく国際社会でもリーダーとして活躍し、高度技術社会に工学技術で貢献できる人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ、多様化する社会にリーダーシップを発揮して柔軟に対応し、独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための教育を行います。

【入学を期待する学生像】

高い専門能力と広い分野における柔軟性のある思考能力を持つ技術者及び研究者を志す人、専攻分野に関する基礎学力を有し、強い学習・研究意欲を持つ人の入学を期待します。また、事業開発マネジメント専攻では、新しい事業や価値観を創造し、起業・第二創業を目指す人、組織内の課題を自ら見つけ、果敢に立ち向かう気概のある人の入学を期待します。

一 般 入 試

1 出願資格

平成24年3月末日をもって、下記(1)～(13)のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
 - (8) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学させる場合には、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
 - (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達するもの
 - (10) 大学に3年以上在学した者であって、本大学院において定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの(ただし、(1)の者を除く。)
- ※「工学研究科修士課程入学試験出願資格(10)による志願者の選考方法等取扱要項」を参照ください。
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
 - (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
 - (13) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

注：(8)～(13)の資格で出願する場合は、事前審査を行いますので平成23年6月3日(金)までに5頁「4. 出願書類提出先」あて事前審査用紙等を請求し、平成23年6月15日(水)までに申請してください。

工学研究科修士課程入学試験出願資格（10）による志願者の選考方法等取扱要項

出願資格（10）による志願者の選考方法等については、下記により取り扱います。

I. 事前審査

出願資格（10）による志願者には次により事前審査を課します。

1. 事前審査の合格基準

次の各号の全てを満たす者を事前審査の合格者とします。

- （1）本研究科修士課程の一般入試の入学試験を実施する年度の3月末までに大学在学期間が3年間に達すること。
- （2）志願者の所属学科等で設定している卒業所要単位数の半分以上を2年次までに修得（必修科目は全て修得すること。）し、かつ修得科目に対する成績評価の優以上の占める割合が9割以上であること。

2. 事前審査のための提出書類

- （1）事前審査申請書（本研究科修士課程所定の用紙）
- （2）在学証明書（本学工学部在学者は不要）
- （3）成績証明書（本学工学部在学者は不要）
- （4）推薦書（本研究科修士課程所定の用紙）
- （5）本研究科修士課程での研究計画書（様式任意）
- （6）在籍大学学部・学科の学生便覧等（卒業要件及び卒業要件にかかる授業科目の構成がわかるもの）

3. 事前審査実施時期

一般入試の入学願書受付開始日の10日前までに実施します。

II. 入学試験

事前審査の合格者に対し、本研究科修士課程の一般入試の入学試験を受験させ、当該試験において優秀な成績を修めた者を仮合格とします。

III. 最終審査

入学試験の仮合格者について、次により最終審査を行い、当審査に合格した者を最終合格とします。

1. 最終審査の合格基準

静岡大学工学部生については、次の各号の全てを満たす者について面接を行い最終審査の合格者とします。

- （1）卒業に必要な教養科目(基軸教育科目・現代教養科目等)の全単位を修得していること
- （2）3年次までに専門科目の卒業所要単位数の9割以上を修得し、かつ修得科目に対する成績評価の優以上の占める割合が9割以上であること。

※静岡大学工学部生以外については、上記の基準に準ずる。

2. 最終審査のための提出書類

- （1）3年次までの成績証明書
- （2）学生便覧及びシラバス

3. 最終審査実施時期

上記2の書類が提出され次第速やかに実施します。

2 募集人員

専攻名	分野	募集人員
機械工学	航空宇宙 流体・環境 熱エネルギー 材料解析 計測情報 知能ロボット メカトロニクス 生産加工	35名
電気電子工学	電気エネルギー 電気システム 電気電子材料 電子物性工学 光・波動エレクトロニクス 情報処理システム	35名
物質工学	材料科学 化学システム工学 工学基礎	38名
システム工学	システム工学 応用数学	19名
	—	127名

募集人員には「社会人入試」及び「外国人留学生入試」を含みます。

3 出願期間

平成23年7月11日（月）から平成23年7月15日（金）まで。

（窓口での受付時間は9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。）

4 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学工学部教務係

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【一般入試】在中」と朱書きしてください。郵送の場合も平成23年7月15日（金）の16時までの必着に限ります。

5 出願書類等

書 類 等	注 意 事 項
入学願書	本学所定の用紙
受験票・写真票	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
研究指導教員志望票	<p>本学所定の用紙</p> <p>第5志望以内の教員名を記入してください。なお、機械工学専攻においては第3志望まで、電気電子工学専攻においては第5志望まで記入してください。（「11 研究指導教員の選定について」を参照）</p> <p>第1志望教員の所属分野と入学願書の第1志望分野は一致させてください。</p>
受験選択科目申告書	本学所定の用紙（電気電子工学専攻及び物質工学専攻を除きます。）
成績証明書	発行者において厳封したもの。本学工学部卒業生は本学で発行するので不要。本学工学部在學生は自動発行機にて発行してください。
卒業（見込）証明書	出身大学（出身学校）が発行したもの。本学工学部卒業生は本学で発行するので不要。本学工学部在學生は自動発行機にて発行してください。
学士の学位授与申請予定証明書	出身学校所定のもの（1出願資格(2)による出願者のみ）

<p><入学検定料>振替払込 受付証明書 貼付用紙 (入学検定料 30,000 円) (国費留学生は不要)</p>	<p>同封の「払込取扱票」により、郵便局・ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。）の受付窓口で払込んでください。 ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。 払込取扱票の「ご依頼人」欄（3ヶ所）に住所、氏名（受験生本人）等を、黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず日附印の押印を確認してください。（日附印のない場合には、出願書類を受理しません。） 「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ、「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を貼り付けて、他の書類といっしょに提出してください。 [注]「振替払込請求書兼受領証」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。 ◎払込後の入学検定料は、35ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 払込手数料は330円です。</p>
<p>返信用封筒（受験票返送用）</p>	<p>所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し、80円分の切手を貼ってください。</p>
<p>あて名票（合格通知等送付用）</p>	<p>本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入してください。</p>
<p>TOEIC（または TOEFL）の公式認定証またはスコアシートの写し</p>	<p><u>A4サイズ</u>の用紙にコピーし提出してください。 <u>ただし平成21年4月以降に受験したTOEIC（またはTOEFL）に限ります。</u>なお、<u>原本については面接時に確認しますので、受験時に必ず持参してください。</u></p>
<p>その他</p>	<p>①現在、他の大学院に在学中の者は、当該大学院の受験許可書を提出してください。 ②外国人にあつては、登録原票記載事項証明書を提出してください。</p>

6 選抜方法

学力試験と面接により、合否を判定します。

7 選抜方針

入学後、各専攻において学習・研究を行うために必要な能力、学力、適性などを判断するため、次の試験を課します。

《機械工学専攻》

- (1) 数学：研究を行うための基本となる基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：志望する研究分野の専門的学力など、大学院で学習・研究を行うために必要な基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やヒヤリング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC (または TOEFL) を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接試験の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《電気電子工学専攻》

- (1) 数学：研究を行うために必要な基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識・基本的学力を評価します。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やヒヤリング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC (または TOEFL) を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接試験の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《物質工学専攻》

- (1) 専門科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識と、研究分野に必要な専門的学力などを評価します。
- (2) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やヒヤリング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC (または TOEFL) を課します。
- (3) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (4) 学力試験、面接試験及び出願書類の結果を総合して、合否判断します。

《システム工学専攻》

- (1) 数学：研究を行うために必要な基礎知識と論理的思考力を評価します。
- (2) 専門科目：志望する研究分野の専門的学力など大学院で学習・研究を行うために必要な基本的学力を評価します。そのため、本専攻を構成する専門分野から各々 2 科目出題されます。科目の選択は一部を除いて自由ですが、大学院で研究することを希望する分野の科目を選択することが望まれます。
- (3) 外国語(英語)：英語で書かれた文章の読解力やヒヤリング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC (または TOEFL) を課します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意などの学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。
- (5) 学力試験の結果と面接試験の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

8 学力試験及び面接の日時・試験場等

(1) 日時

専攻名	平成23年 8月22日(月)		平成23年 8月23日(火)
	午前	午後	午後
機械工学	10:00-11:00 数 学	13:00-16:00 専門科目	13:00- 面 接
電気電子工学	10:00-11:00 数 学	13:00-16:00 専門科目	13:00- 面 接
物質工学		13:00-15:00 専門科目	13:00- 面 接
システム工学	10:00-11:00 数 学	13:00-15:00 専門科目	13:00- 面 接

(注) 筆記用具以外にコンパス及び三角定規を持ち込んでも構いません。辞書類及び携帯電話等の電子機器の持ち込みは不可とします。

(2) 試験場：静岡大学工学部（浜松市中区城北三丁目5番1号）

[場所等の詳細については受験票送付の際、同封します。]

9 学力試験科目及び面接等の配点

専攻名	数 学	専 門 科 目	外国語	面 接
機械工学	数学(微積分・線形代数からの基礎的問題) (100点)	材料力学, 熱力学, 流体力学, 機械力学の中から3科目選択 (300点)	英 語 (100点)	面接 (100点)
電気電子工学	数学(微積分・線形代数からの基礎的問題) (100点)	電気回路, 電子回路, 電磁気学の3科目 (300点)	英 語 (100点)	面接 (100点)

専攻名	専 門 科 目	外国語	面 接
物質工学	材料科学, 化学システム工学, 工学基礎の中から1科目選択 (400点)	英 語 (100点)	面接 (100点)

専攻名	数 学	専 門 科 目	外国語	面 接
システム工学 (注)	「数学(微積分・線形代数からの基礎的問題)」(100点)	常微分方程式, 計算機科学基礎, 線形回路, ラプラス・フーリエ解析, 位相数学の中から2科目選択 (200点)	英 語 (100点)	面接 (100点)

- 英語：全専攻の英語については筆記試験を実施せず、TOEIC スコア（X点）を下記の式で換算した点数を英語の得点（Y点）とします。スコアの提出がない場合は、出願を認めません。

$$Y = \{ (X - 200) / 500 \} \times 100$$

700点以上は100点、200点以下は0点とし、小数点以下は四捨五入します。

なお、TOEFL の場合は通常適用される換算式に基づいて TOEIC のスコアへ換算します。

また、面接時に TOEIC（または TOEFL）の公式認定書またはスコアシートの原本を確認するので、必ず受験時に持参してください。ただし、平成21年4月以降に受験したものに限りません。

(注)：システム工学専攻を受験するにあたり、以下の事項に留意してください。

- 専門科目：2科目選択。選択科目について、『システム工学』の分野所属の教員を研究指導教員の第1志望とする者は「ラプラス・フーリエ解析」，「位相数学」を選択することはできません。

10 電気電子工学専攻、物質工学専攻及びシステム工学専攻の試験科目についての補足説明

電気電子工学専攻、物質工学専攻及びシステム工学専攻の試験科目については、出題範囲等の補足説明が以下に記載されているので、参考にしてください。

■電気電子工学専攻 試験科目の補足説明（各専門科目には以下の内容が含まれます。）

専門科目
電気回路（直流回路，交流回路，2端子対回路，伝送線路）
電子回路（増幅回路，発振回路，オペアンプ回路，論理回路，デジタル回路，A/D・D/A変換）
電磁気学（ベクトル解析，真空中の静電界，誘電体と静電界，磁性体と静磁界，定常電流と電気伝導，定常電流による静磁界，電磁誘導とインダクタンス，マクスウェル方程式，平面電磁波）

■物質工学専攻 試験科目の補足説明（各専門科目には以下の内容が含まれます。）

受験時に，下記の科目の中から1科目選択します。
材料科学 ：応用化学，材料工学
化学システム工学 ：化学工学基礎（物質収支，化学熱力学，エネルギー収支），反応工学（反応速度論，回分反応器解析，流通反応器解析），移動速度論（流動，伝熱，物質移動），単位操作・プロセス工学（拡散単位操作，粉粒体操作，プロセス制御）
工学基礎 ：基礎化学（無機化学，分析化学，有機化学，物理化学）

■システム工学専攻 試験科目の補足説明（各専門科目には以下の内容が含まれます。）

専門科目（下記の科目の中から2科目選択します。）
常微分方程式 ：初等解法（2階および高階の定数係数線形微分方程式を含む。）
計算機科学基礎 ：情報処理推進機構がまとめたIT共通知識体系2005年11月30日版（ http://www.jitec.jp/1_17skill/pdf20050114/IT20051130.pdf ）の【知識分野】「コンピュータ科学基礎」の4つの中分類：数値表現とデータ表現，情報と論理（主に，集合・論理演算，論理関数），データ構造，アルゴリズム（主に，探索，整列アルゴリズム），から出題する。
線形回路 ：直流交流電気回路
ラプラス・フーリエ解析 ：ラプラス変換，フーリエ級数，フーリエ変換
位相数学 ：集合，距離空間，位相空間，ノルム空間

注：試験科目の選択にあたっては，前項「9 学力試験科目及び面接等の配点」注記に留意してください。

11 研究指導教員の選定について

志望する研究指導教員名を別紙「研究指導教員志望票」に記入し、入学願書とともに提出してください。（「修士課程概要」参照）なお、機械工学専攻を志望する者は、研究指導教員名を第3志望まで（第1～第3志望以外の扱いについては、面接の結果により決定します）、電気電子工学専攻を志望する者は第5志望まで記入してください。

12 合格者発表

平成23年9月6日（火）15時（予定）に工学部事務部（本館）前に掲示するとともに、合格者本人に郵送（特定記録）にて通知します。なお、電話等の照会には一切応じません。

13 入学手続

平成24年3月に、工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は、平成24年2月中旬に本人あて別途通知します。【平成23年10月期入学者の入学手続は平成23年9月下旬を予定】

14 入学料及び授業料（予定）

(1) 入学料 282,000円（平成23年度実績額）

(2) 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）（平成23年度実績額）

注. ①前期分授業料について、入学手続日に納入しないときは平成24年4月中に納入してください。

②入学手続き完了者が平成24年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により、当該授業料相当額は返還します。ただし、入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

⑤平成24年3月31日までに、文部科学省の定める「平成24年度の授業料標準額」が改正された場合には、改正後の金額と既に納付した授業料との差額を、後期分の授業料の引き落としの際（平成24年10月）に、指定の口座から追加徴収（引き落とし）させていただきます。

15 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は、工学部教務係までお問い合わせください。

16 欠員補充

合格者が募集人員に満たない場合、各専攻とも第2次募集を行うことがあります。追加合格による欠員補充は行いません。

17 大学院入試情報の提供

(1) 入試情報の開示

本大学院には、入試情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を平成23年11月15日(火)から平成23年12月15日(木)の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部教務チーム総務スタッフ(大学院担当)まで問い合わせてください。

学務部教務チーム総務スタッフ(大学院担当) TEL 054-238-4332

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(2) 試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、学務部入試情報閲覧室及び工学部教務係窓口で閲覧することができます。

18 注意事項等

(1) 試験に必要な注意事項、学力試験室及び面接控室(集合場所)等を工学部事務部(本館)前に掲示しますので事前に承知しておいてください。

(2) 学力試験及び面接試験には、必ず受験票を持参してください。

(3) 試験開始後、30分以上遅刻した者は、当該科目以降のすべての科目の受験を認めません。

(4) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。

(5) 一度納入した検定料は、いかなる理由があっても返還しません。

(6) 試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに乗り、「静岡大学」で下車。(所要時間約20分)

(7) 募集要項の請求 工学部教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求する封筒の表に「工学研究科(修士課程)募集要項請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号・住所・氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。

[【返信用封筒】：角型2号(33cm×24cm)の封筒に請求者の郵便番号・住所・氏名を明記し、240円分の切手を貼付してください]

請求先：〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学工学部教務係

■問い合わせ先■

静岡大学工学部教務係

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

TEL053-478-1010

平成 23 年度 静岡大学大学院工学研究科（修士課程）

10 月期入学 学生募集要項（一般入試）

平成23年10月期入学試験は、平成24年4月入学を前提として作成された「平成24年度静岡大学大学院工学研究科修士課程学生募集要項」に基づいて実施します。「1 出願資格」及び「2 募集人員」以外の詳細については平成24年度大学院工学研究科修士課程学生募集要項「一般入試」の頁を参照してください。

1 出願資格

平成23年9月末日をもって、下記（1）～（13）のいずれかに該当、あるいは該当する見込みの者。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
 - (8) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする場合には、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
 - (9) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達するもの
 - (10) 大学に3年以上在学した者であって、本大学院において定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの（ただし、(1)の者を除く。）
- ※「工学研究科修士課程入学試験出願資格（10）による志願者の選考方法等取扱要項」を参照ください。
- (11) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
 - (12) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者であって、本大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの
 - (13) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者であって、大学院の定める所定の単位を優秀な成績で修得したと認められたもの

注：（8）～（13）の資格で出願する場合は、事前審査を行いますので平成23年6月3日（金）までに5頁

「4. 出願書類提出先」にて事前審査用紙等を請求し、平成23年6月15日（水）までに申請してください。

2 募集人員

専攻名	分野	募集人員
機械工学	航空宇宙 流体・環境 熱エネルギー 材料解析 計測情報 知能ロボット メカトロニクス 生産加工	若干名
電気電子工学	電気エネルギー 電気システム 電気電子材料 電子物性工学 光・波動エレクトロニクス 情報処理システム	若干名
物質工学	材料科学 化学システム工学 工学基礎	若干名
システム工学	システム工学 応用数学	若干名

自己推薦型入試

1 自己推薦型入試の趣旨

近年、科学技術の進展と広がりが著しく、新しい学問分野のみならず、既存の学問体系の枠を越えた学際的学問分野等の開拓も重要となってきています。こうした社会的要請に応えるべく、本研究科修士課程では学生一人一人に特徴ある教育と研究を目的として、本学出身者及び多くの大学、学部出身の学生にも門戸を広げた自己推薦型入試を実施します。

すなわち、本学及び他大学出身者で、学問・研究に積極的かつ優秀な学生であれば、他分野を専攻した者も含め、入学を歓迎するというもので、その選考は、出願書類の審査及び面接試験によって行う特別の制度です。

2 出願資格

機械工学、電気電子工学、物質工学あるいはシステム工学に深い関心と熱意を有し、学業成績が優秀で創造的な研究活動に意欲的に取り組める者であり、二次選抜に合格した場合、入学を確約できる者及び下記(1)～(4)のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により平成24年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を平成24年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を平成24年3月修了見込みの者

3 募集人員

専攻名	分野	募集人員
機械工学	航空宇宙 流体・環境 熱エネルギー 材料解析 計測情報 知能ロボット メカトロニクス 生産加工	35名
電気電子工学	電気エネルギー 電気システム 電気電子材料 電子物性工学 光・波動エレクトロニクス 情報処理システム	35名
物質工学	材料科学 化学システム工学 工学基礎	27名
システム工学	システム工学 応用数学	18名
計	—	115名

4 出願期間

平成23年5月16日(月)から平成23年5月20日(金)まで。

(窓口での受付時間は9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。)

5 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学工学部教務係

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【自己推薦型入試】在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合も平成23年5月20日（金）の16時までの必着に限ります。

6 出願書類等

書 類 等	注 意 事 項
入学願書	本学所定の用紙
受験票・写真票	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
研究指導教員志望票	本学所定の用紙 第5志望以内の教員名を記入してください。（「10 研究指導教員の選定について」を参照） 第1志望教員の所属分野と入学願書の第1志望分野は一致させてください。
成績証明書	発行者において厳封したもの。本学工学部在籍者は自動発行機で発行してください。
自己推薦書	本学所定の用紙 得意科目や学問以外の得意なこと、今後の学習及び研究に対する抱負について、「2,000字以内」（A4判 縦長・横書）にまとめたもので、必ず自署してください。
卒業見込証明書	出身大学（出身学校）が発行したもの。 本学工学部在籍生は自動発行機で発行してください。

<p><入学検定料>振替払込 受付証明書 貼付用紙 (入学検定料 30,000 円) (国費留学生は不要)</p>	<p>同封の「払込取扱票」により、郵便局・ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。）の受付窓口で払込んでください。</p> <p>ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。</p> <p>払込取扱票の「ご依頼人」欄（3ヶ所）に住所、氏名（受験生本人）等を、黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず日附印の押印を確認してください。</p> <p>（日附印のない場合には、出願書類を受理しません。）</p> <p>「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ、「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を貼り付けて、他の書類といっしょに提出してください。</p> <p>[注]「振替払込請求書兼受領証」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。</p> <p>◎払込後の入学検定料は、35ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>払込手数料は330円です。</p>
<p>返信用封筒（受験票返送用と一次選抜結果通知用の2枚）</p>	<p>所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し、指定された料金分の切手を貼ってください。</p>
<p>あて名票（合格通知等送付用）</p>	<p>本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入してください。</p>
<p>その他</p>	<p>外国人にあつては、登録原票記載事項証明書を提出してください。</p>

7 選抜方法

一次選抜では、書類審査により、二次選抜受験有資格者を平成23年6月17日（金）までに決定し、二次選抜では、面接試験により、最終合否を判定します。

8 選抜方針

《機械工学専攻》

(一次選抜)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。

(二次選抜)

- ・ 面接試験：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。
- ・ 面接試験の結果と一次選抜の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

《電気電子工学専攻》

(一次選抜)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
(自己推薦書：二次選抜における学習意欲・積極性・知的好奇心等の評価に際して用います。)

(二次選抜)

- ・ 一次選抜合格者の中から二次選抜合格者を決定します。
- ・ 面接試験：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。簡易形式の筆記試験（採点せず）と面接を行います。
- ・ 自己推薦書及び面接試験の結果を総合的に判断し、合格者を決定します。

《物質工学専攻》

(一次選抜)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。

(二次選抜)

- ・ 面接試験：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。
- ・ 面接試験の結果と一次選抜の結果を総合的に判断し合格者を決定します。

《システム工学専攻》

(一次選抜)

- ・ 成績証明書：学習・研究を行うための学力を評価します。
- ・ 自己推薦書：学習意欲・積極性・知的好奇心等を評価します。

(二次選抜)

- ・ 面接試験：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎学力を評価します。
- ・ 面接試験の結果と一次選抜の結果を総合的に判断し合格者を決定します。

9 二次選抜（面接試験）の日時・試験場等

日 時：平成23年6月30日（木）13時30分～

試験場：静岡大学工学部（浜松市中区城北三丁目5番1号）

[場所等の詳細については一次選抜結果通知書送付の際、通知します。]

10 研究指導教員の選定について

志望する研究指導教員名を別紙「研究指導教員志望票」に記入し、入学願書とともに提出してください。
(「修士課程概要」参照)

11 合格者発表

平成23年7月8日(金)15時(予定)に工学部事務部(本館)前に掲示するとともに、合格者本人に郵送(特定記録)にて通知します。なお、電話等の照会には一切応じません。

12 入学手続

平成24年3月に、工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は、平成24年2月中旬に本人あて別途通知します。

13 入学料及び授業料(予定)

(1) 入学料 282,000円(平成23年度実績額)

(2) 授業料 年額 535,800円(半期分267,900円)(平成23年度実績額)

注. ①前期分授業料について、入学手続日に納入しないときは平成24年4月中に納入してください。

②入学手続き完了者が平成24年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により、当該授業料相当額は返還します。ただし、入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④入学及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

⑤平成24年3月31日までに、文部科学省の定める「平成24年度の授業料標準額」が改正された場合には、改正後の金額と既に納付した授業料との差額を、後期分の授業料引き落としの際(平成24年10月)に、指定の口座から追加徴収(引き落とし)させていただきます。

14 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限(2年間)で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は、工学部教務係までお問い合わせください。

15 欠員補充

合格者が募集人員に満たない場合、各専攻とも「追加合格」及び「第2次募集」は行いません。

16 大学院入試情報の提供

入試情報の開示

本大学院には、入試情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を平成23年11月15日(火)から平成23年12月15日(木)の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部教務チーム総務スタッフ(大学院担当)まで問い合わせてください。

学務部教務チーム総務スタッフ(大学院担当) TEL 054-238-4332

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

17 注意事項等

- (1) 二次選抜（面接試験）には、必ず受験票を持参してください。
- (2) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。
- (3) 二次選抜（面接試験）試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに乘車、「静岡大学」で下車(所要時間約20分)
- (4) 募集要項の請求 工学部教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求する封筒の表に「工学研究科（修士課程）募集要項請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号、住所、氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。
〔【返信用封筒】：角型2号（33cm×24cm）の封筒に請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、240円分の切手を貼付してください〕

<p>■問い合わせ先■ 静岡大学工学部教務係 〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 TEL053-478-1010</p>

社会人入試

1 社会人入試の趣旨

近年、科学技術の発展と情報化・国際化の急速な進展とが、高齢化社会の到来と相まって「生涯教育」の必要性が増大し、生涯教育制度の確立が要望されています。このような時代の情勢に鑑み、企業等で活躍している社会人の教育・研究の場として、本研究科修士課程を広く開放するための特別の選考を行います。

2 出願資格

「一般入試」の「1 出願資格」を満たし、平成24年3月末までに同一の企業に1年以上正規の職員として勤務することになる者で、所属長から受験することを推薦又は受験を許可された者とします。（ただし、出願時に学部学生として在学中の者を除きます。）

3 募集人員

専攻名	分野	募集人員
機械工学	航空宇宙 流体・環境 熱エネルギー 材料解析 計測情報 知能ロボット メカトロニクス 生産加工	若干名
電気電子工学	電気エネルギー 電気システム 電気電子材料 電子物性工学 光・波動エレクトロニクス 情報処理システム	若干名
物質工学	材料科学 化学システム工学 工学基礎	若干名
システム工学	システム工学 応用数学	若干名

4 出願期間

平成23年7月11日（月）から平成23年7月15日（金）まで。

（窓口での受付時間は9時から16時までの間。ただし、12時30分から13時30分までの間を除きます。）

5 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学工学部教務係

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【社会人入試】在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合も平成23年7月15日（金）の16時までの必着に限ります。

6 出願書類等

書 類 等	注 意 事 項
入学願書	本学所定の用紙
受験票・写真票	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
研究指導教員志望票	<p>本学所定の用紙</p> <p>第5志望以内の教員名を記入してください（「10 研究指導教員の選定について」を参照）。</p> <p>第1志望教員の所属分野と入学願書の第1志望分野は一致させてください。</p>
志望理由書	本研究科を志望する理由を「1000字以内」にまとめたもの（A4判，様式任意）
研究業績報告書	現在及び過去に携わった研究・技術職について，その業績内容を「1000字以内」にまとめたもの及びその他技術報告書，特許，実用新案，本人の業績を表す文書等（研究業績報告書はA4判，様式任意）
推薦書【任意提出資料】	勤務先の所属長が記入したもの（A4判，様式任意）
受験許可書	勤務先の所属長が記入したもの（A4判，様式任意）
成績証明書	発行者において厳封したもの。本学工学部卒業の者は本学で発行するので不要。
卒業証明書	<p>出身大学（出身学校）が発行したもの。</p> <p>本学工学部卒業の者は本学で発行するので不要。</p>

<p><入学検定料>振替払込 受付証明書 貼付用紙</p> <p>(入学検定料 30,000 円) (国費留学生は不要)</p>	<p>同封の「払込取扱票」により、郵便局・ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。）の受付窓口で払込んでください。</p> <p>ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。</p> <p>払込取扱票の「ご依頼人」欄（3ヶ所）に住所、氏名（受験生本人）等を、黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず日附印の押印を確認してください。</p> <p>（日附印のない場合には、出願書類を受理しません。）</p> <p>「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ、「振替払込受付証明書（入学検定料受付証明書）」を貼り付けて、他の書類といっしょに提出してください。</p> <p>[注]「振替払込請求書兼受領証」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。</p> <p>◎払込後の入学検定料は、35ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>払込手数料は330円です。</p>
<p>返信用封筒（受験票返送用）</p>	<p>所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し、80円分の切手を貼ってください。</p>
<p>あて名票（合格通知等送付用）</p>	<p>本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入してください。</p>
<p>TOEIC（または TOEFL）の公式認定証またはスコアシートの写し</p>	<p><u>A4サイズ</u>の用紙にコピーし提出してください。</p> <p><u>ただし平成21年4月以降に受験した TOEIC（または TOEFL）に限ります。</u>なお、<u>原本については面接時に確認します</u>ので、<u>受験時に必ず持参してください。</u></p>
<p>その他</p>	<p>外国人にあつては、登録原票記載事項証明書を提出してください。</p>

7 選抜方法

学力試験（外国語（英語））、面接試験及び出願書類の結果を総合して行います。

(1) 学力試験

外国語（英語）「配点 100 点」

全専攻の英語については、筆記試験を実施せず、TOEIC のスコア(X点)を下記の式で換算した点数を英語の得点(Y点)とします。スコアの提出がない場合は、出願を認めません。

$$Y = \{ (X - 200) / 500 \} \times 100$$

700点以上は100点、200点以下は0点とし、小数点以下は四捨五入します。

なお、TOEFL の場合は通常適用される換算式に基づいて TOEIC のスコアへ換算します。

また、面接時に TOEIC（または TOEFL）の公式認定書またはスコアシートの原本を確認するので、必ず受験時に持参してください。ただし、平成21年4月以降に受験したものに限りません。

(2) 面接試験「配点 100 点」

大学卒業程度の学力・研究業績報告書等について、面接試験を行います。

8 選抜方針

本研究科で学習・研究を行うために必要な能力、学力、適正等を次の各試験において総合的に判断します。

(1) 学力試験（英語）：英語で書かれた文章の読解力やヒヤリング能力等外国語運用能力を評価します。そのため、これらを総合的に評価できる TOEIC（または TOEFL）を課します。

(2) 面接試験：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。

9 面接試験の日時・試験場等

(1) 日時

専攻名	平成23年8月23日（火）
機械工学	13:00— 面接
電気電子工学	13:00— 面接
物質工学	13:00— 面接
システム工学	13:00— 面接

(2) 試験場：静岡大学工学部（浜松市中区城北三丁目5番1号）

〔場所等の詳細については受験票送付の際、同封します。〕

10 研究指導教員の選定について

志望する研究指導教員名を別紙「研究指導教員志望票」に記入し、入学願書とともに提出してください。
(「修士課程概要」参照) なお、研究指導教員の選定にあたっては、研究内容等について、予め志望する教員にガイダンスを受けてください。

11 合格者発表

平成23年9月6日(火)15時(予定)に工学部事務部(本館)前に掲示するとともに、合格者本人に郵送(特定記録)にて通知します。なお、電話等の照会には一切応じません。

12 入学手続

平成24年3月に、工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は、平成24年2月中旬に本人あて別途通知します。

13 入学料及び授業料(予定)

(1) 入学料 282,000円(平成23年度実績額)

(2) 授業料 年額 535,800円(半期分267,900円)(平成23年度実績額)

注. ①前期分授業料について、入学手続日に納入しないときは平成24年4月中に納入してください。

②入学手続き完了者が平成24年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により、当該授業料相当額は返還します。ただし、入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

⑤平成24年3月31日までに、文部科学省の定める「平成24年度の授業料標準額」が改正された場合には、改正後の金額と既に納付した授業料との差額を、後期分の授業料の引き落としの際(平成24年10月)に、指定の口座から追加徴収(引き落とし)させていただきます。

14 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限(2年間)で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は、工学部教務係までお問い合わせください。

15 大学院入試情報の提供

(1) 入試情報の開示

本大学院には、入試情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を平成23年11月15日（火）から平成23年12月15日（木）の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部教務チーム総務スタッフ（大学院担当）まで問い合わせてください。

学務部教務チーム総務スタッフ（大学院担当） TEL 054-238-4332

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(2) 試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、学務部入試情報閲覧室及び工学部教務係窓口で閲覧することができます。

16 注意事項等

(1) 出願に際しては、志望する研究指導教員等に、予め研究内容についてガイダンスを受けるようにしてください。

(2) 試験に必要な注意事項、面接控室(集合場所)等を工学部事務部（本館）前に掲示するので事前に承知しておいてください。

(3) 面接試験には、必ず受験票を持参してください。

(4) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。

(5) 試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに乗り、「静岡大学」で下車。(所要時間約20分)

(6) 募集要項の請求 工学部教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求する封筒の表に「工学研究科（修士課程）募集要項請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号、住所、氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。

〔【返信用封筒】：角型2号（33cm×24cm）の封筒に請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、240円分の切手を貼付してください〕

17 働きながら学べる夜間・土曜日開講

有職者・社会人が入学した場合、2年間昼間フルタイムで就学することは困難です。

そのような有職者・社会人の事情を考慮して、授業を夜間と土曜日に開講することなどで社会人学生の就学を容易にするための多様な教育方法の実施を予定しております。

■問い合わせ先■

静岡大学工学部教務係

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

TEL053-478-1010

外国人留学生入試

1 出願資格

下記（１）～（３）のいずれかに該当する者。

ただし、いずれの場合も日本の大学（学部）を卒業又は卒業見込みの者は除きます。

- （１）外国において学校教育における１６年の課程を修了している者で、さらに本学に研究生として在学している者
- （２）外国において学校教育における１６年の課程を修了している者で、さらに本学以外の日本の大学に研究生として在学している者
- （３）その他本研究科において、上記（１）又は（２）に準ずるものと認められた者

注：（３）の資格で出願する場合は、事前審査を行うので平成２３年１０月６日（木）までに「**4. 出願書類提出先**」あて事前審査用紙等を請求し、平成２３年１０月２１日（金）までに申請してください。

2 募集人員

専攻名	分野	募集人員
機械工学	航空宇宙 流体・環境 熱エネルギー 材料解析 計測情報 知能ロボット メカトロニクス 生産加工	若干名
電気電子工学	電気エネルギー 電気システム 電気電子材料 電子物性工学 光・波動エレクトロニクス 情報処理システム	若干名
物質工学	材料科学 化学システム工学 工学基礎	若干名
システム工学	システム工学 応用数学	若干名

3 出願期間

平成２３年１１月２８日（月）から平成２３年１２月２日（金）まで。

（窓口での受付時間は９時から１６時までの間。ただし、１２時３０分から１３時３０分までの間を除きます。）

4 出願書類提出先

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目５番１号 静岡大学工学部教務係

郵送の場合は必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「大学院入学願書【外国人留学生入試】在中」と朱書きしてください。なお、郵送の場合も平成２３年１２月２日（金）の１６時までの必着に限ります。

5 出願書類等

【本入試の出願書類は、本冊子綴じこみの用紙とは異なるので別途請求ください(15(6)参照)】

書 類 等	注 意 事 項
入学願書 (受験票・写真票)	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
志望理由書	本研究科を志望する理由を「1000字以内」にまとめたもの (A4判, 和文, 様式任意)
最終出身学校の成績証明書	発行者において厳封したもの。
最終出身学校の卒業(修了)証明書	出身大学(学校)が発行したもの。
履歴書	本学所定の用紙 所定の写真を貼ってください。
身元保証書	本学所定の用紙
<p><入学検定料>振替払込 受付証明書 貼付用紙 (入学検定料 30,000 円) (国費留学生は不要)</p>	<p>同封の「払込取扱票」により、郵便局・ゆうちょ銀行(ゆうちょ銀行以外の銀行からの払込みはできません。)の受付窓口で払込んでください。</p> <p>ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。</p> <p>払込取扱票の「ご依頼人」欄(3ヶ所)に住所、氏名(受験生本人)等を、黒または青色のボールペンで正確に必ず記入してください。</p> <p>「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」を郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口から受け取る際には、必ず日附印の押印を確認してください。</p> <p>(日附印のない場合には、出願書類を受理しません。)</p> <p>「<入学検定料>振替払込受付証明書 貼付用紙」の所定欄に氏名等を記入のうえ、「振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」を貼り付けて、他の書類といっしょに提出してください。</p> <p>[注]「振替払込請求書兼受領証」は、受験票を受け取るまで大切に保存してください。</p> <p>◎払込後の入学検定料は、35ページの「検定料の返還について」に掲げる場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>払込手数料は330円です。</p>
返信用封筒(受験票返送用)	所定の封筒 郵便番号・住所・氏名を明記し、80円分の切手を貼ってください。
あて名票(合格通知等送付用)	本学所定の用紙 郵便番号・住所・氏名を記入ください。

6 選抜方法等

(1) 機械工学専攻

学力試験の結果と、面接試験及び出願書類の結果をそれぞれ独立に合否判断し、両方の合格者を最終的な合格者とします。

学力試験は、各専攻共通の「日本語」及び「英語」と機械工学専攻の「基礎科目」を行います。

(2) 電気電子工学及びシステム工学専攻

学力試験、面接試験及び出願書類の結果を総合して行います。

学力試験は、各専攻共通の「日本語」及び「英語」と各専攻別の「基礎科目」を行います。

(3) 物質工学専攻

学力試験（筆記）は課さず、面接試験及び出願書類の結果のみで選抜します。

7 選抜方針

本研究科で学習・研究を行うために必要な能力、学力、適正等を次の各試験において総合的に判断します。

- (1) 日本語：学習・研究を行うために必要な日本語運用能力を評価します。
- (2) 英語：英語で書かれた科学論文の読解力、作文等の外国語運用能力を評価します。
- (3) 基礎科目：大学院で学習・研究を行うための基本となる基礎知識・基礎学力を評価します。
- (4) 面接：志望動機や将来の目標、意欲、熱意等の学習・研究に対する態度及び基礎知識等を評価します。

8 学力試験及び面接の日時・場所等

(1) 機械工学, 電気電子工学およびシステム工学専攻

試験区分	期 日	時 間	場 所
日本語	平成23年 12月21日(水)	9:30-10:30	静岡大学工学部内 〔試験室については受験 票送付時に通知します。〕
英 語		11:00-12:00	
基礎科目		13:00-15:00	
面 接		16:00-	

注. 筆記用具以外にコンパス及び三角定規を持ち込んでもよい。辞書類の持ち込みは不可とします。

(2) 物質工学専攻

試験区分	期 日	時 間	場 所
面 接	平成23年 12月21日(水)	13:00-	静岡大学工学部内

9 試験科目及び面接等の配点

(1) 機械工学専攻, 電気電子工学専攻及びシステム工学専攻

専 攻 名	日本語	英 語	基 礎 科 目	面接
機械工学	100点	100点	材料力学, 熱力学, 流体力学, 機械力学 の中から2科目選択(200点)	100点
電気電子工学	100点	100点	数学, 電気回路, 電子回路, 電磁気学, 電子計算機の中から2科目選択(200点)	100点
システム工学	100点	100点	数学(微積分・線形代数からの基礎的問 題)(200点)	100点

(2) 物質工学専攻

面 接	書 類
100点	100点

10 合格者発表

平成24年1月12日(木)17時(予定)に工学部事務部(本館)前に掲示するとともに, 合格者本人に郵送(特定記録)にて通知します。なお, 電話等の照会には一切応じません。

11 入学手続

平成24年3月に, 工学部において行います。日時及び提出書類についての詳細は, 平成24年2月中旬に本人あて別途通知します。

12 入学料及び授業料（予定）

(1) 入学料 282,000円（平成23年度実績額）

(2) 授業料 年額 535,800円（半期分267,900円）（平成23年度実績額）

注. ①前期分授業料について、入学手続き日に納入しないときは平成24年4月中に納入してください。

②入学手続き完了者が平成24年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により、当該授業料相当額は返還します。ただし、入学料はいかなる理由があっても返還しません。

③本学では、文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。

④入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

⑤平成24年3月31日までに、文部科学省の定める「平成24年度の授業料標準額」が改正された場合には、改正後の金額と既に納付した授業料との差額を、後期分の授業料の引き落としの際（平成24年10月）に、指定の口座から追加徴収（引き落とし）させていただきます。

13 長期履修学生制度

長期履修学生制度とは、職業を有しているなどの理由により、標準修業年限（2年間）で大学院課程を修了できないと考える学生に対し、本人からの申請に基づいて4年間以内の計画的な履修を認める制度で、長期在学期間中は授業料年額において特別措置を受けることができます。ただし、審査の結果、認められない場合もありますので留意してください。長期履修学生制度の詳細は、工学部教務係までお問い合わせください。

14 大学院入試情報の提供

(1) 入試情報の開示

本大学院には、入試情報の開示制度があります。当該年度の受験者で、不合格者に対して試験成績の開示申請を平成24年4月16日（月）から平成24年5月15日（火）の間に受け付けます。詳細は、静岡大学学務部教務チーム総務スタッフ（大学院担当）まで問い合わせてください。

学務部教務チーム総務スタッフ（大学院担当） TEL 054-238-4332

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(2) 試験問題の閲覧

大学院の過去問題については、学務部入試情報閲覧室及び工学部教務係窓口で閲覧することができます。

15 注意事項等

- (1) 学力試験及び面接試験には、必ず受験票を持参してください。
- (2) 試験開始後、30分以上遅刻した者は、当該科目以降のすべての科目の受験を認めません。
- (3) 出願後、提出書類の内容変更は認めません。また、提出された書類は返還しません。
- (4) 試験場「静岡大学工学部」へは、JR浜松駅北口バスターミナル15番又は16番のりばからバスに乗り、「静岡大学」で下車。(所要時間約20分)
- (5) 募集要項の請求 工学部教務係の窓口で配布するほか、郵送でも受け付けます。郵送の場合は、請求する封筒の表に「工学研究科（修士課程）外国人留学生入試募集要項 請求」と朱書き、裏面には請求者の郵便番号、住所、氏名を必ず記入し、【返信用封筒】を同封の上、下記あてに送付してください。〔【返信用封筒】：角型2号（33cm×24cm）の封筒に請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、240円分の切手を貼付してください〕

請求先：〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学工学部教務係

出願用紙のみ請求する場合は、その旨明記してください。(返信用封筒に貼る切手は240円分で可)

■問い合わせ先■

静岡大学工学部教務係

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号

TEL053-478-1010

障害等のある入学志願者の受験特別措置

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願する前に本研究科と相談する必要がありますので、下記により申請してください。

相談の結果は決定次第、本人に連絡します。

なお、申請前に本学のキャンパス（設置場所、環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申請期限	原則として出願の1か月前まで
申請の方法	『大学院受験特別措置申請書』に、『障害者手帳』の写し又は医師の『診断書』を添えて申請してください。 なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる方（保護者、出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連絡先	〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5番1号 静岡大学工学部教務係 TEL 053-478-1010 FAX 053-471-0249

- 【注】 1 郵便による照会及び『大学院受験特別措置申請書』の用紙を請求する場合は、80円分の切手を貼り、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記した『返信用封筒（長形3号：23.5 cm×12 cm）』を同封のうえ、上記連絡先まで送付してください。
- 2 電話による照会及び『大学院受験特別措置申請書』を持参する場合は、土曜日、日曜日及び休日には受け付けませんので注意してください。

個人情報取扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて、以下のとおり取り扱います。

- 1 出願書類に記載された個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- 2 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- 3 入学者の個人情報については、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

検定料の返還について

払込後の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(1) 検定料の返還請求ができる場合

- ① 検定料を払い込んだが本学大学院に出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ③ 出願書類、出願要件に不備があり、出願が受理されなかった場合

(2) 返還する検定料の金額

志願者本人の申出により二重払い込み分又は全額を返還します。

(3) 返還請求の方法

上記(1)の①または②に該当する場合は、便せん等を使って、次の1～8を明記した検定料返還請求書を作成し、必ず「郵便振替払込受付証明書(入学検定料受付証明書)」または「払込金受領証」を添付して、平成24年2月28日(火) [必着]までに、静岡大学工学部教務係(〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1)へ郵送してください。

また、③の場合は出願書類返却時に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入のうえ郵送してください。

なお、返還に係る振込み手数料は、請求者の負担とします。

静岡大学入学検定料返還請求書

平成 年 月 日

静岡大学長 殿

- 1 返還請求の理由
- 2 入試区分 (自己推薦型入試, 一般入試, 一般入試(10月入学), 社会人入試, 外国人留学生入試)
- 3 志望しようとした学部名
- 4 氏名 (フリガナ)
- 5 現住所
- 6 連絡先電話番号
- 7 返還請求額 (30,000 円)
- 8 返還金振込先 ・金融機関名 (郵便局・ゆうちょ銀行は不可), 支店名
・預金種別 (当座・普通), 口座番号
・口座名義 (フリガナ)
・口座名義人が志願者と異なる場合は, 志願者との続柄

静岡大学大学院工学研究科修士課程概要

本研究科修士課程の専攻及び分野は、下記のとおりです。

入学後は各専攻に開講される授業科目を受講するとともに、その中の特定の分野に所属して演習並びに研究を行うこととなりますので、この一覧表を参照し志望の専攻及び分野を選定してください。

(注) △印は退職予定教員等を示し、指導教員として志望することはできません。

助教が担当する指導学生数は、全ての選抜試験を含めて1学年1名以内としています。

自己推薦型特別選抜の結果により、一般選抜において研究指導を志望できない教員(助教)がある場合がありますので、7月8日(金)頃、工学部HPにてお知らせします。

(工学部HP: <http://www.eng.shizuoka.ac.jp/>)

専攻	分野	教員		研究内容
機械工学	航空宇宙	教授	三澤 正吉	軌道上システム, 宇宙構造体の動力学
		教授	平田 邦夫	将来型宇宙輸送機, ロケット用液化水素エンジン, 複合サイクルエンジン
		教授	山極 芳樹	将来型宇宙推進システム, 宇宙開発が地球環境に及ぼす影響の評価
		准教授	吹場 活佳	航空工学, 空気吸い込み式推進, 極超音速機
		助教	松井 信	高温気体力学, 宇宙推進工学, 宇宙エネルギー利用に関する研究
	流体・環境	教授	齋藤 隆之	地球環境保全技術, 混相乱流, 界面物理, レーザー応用流体計測
		教授	福田 充宏	冷媒圧縮機および冷凍システムに関する研究
		准教授	岡本 正芳	数値計算による乱流研究
		准教授	真田 俊之	分散性混相流, 物理洗浄
	熱エネルギー	教授	長谷 隆	交通流体力学, 分子熱流体力学
		教授	中山 頤	伝熱工学, 多孔質体内の熱流動, マイクロ伝熱, 生体伝熱
		准教授	桑原 不二朗	熱流動のシミュレーション, 流動場の可視化実験
		准教授	柿本 益志	多孔質体の熱移動, 高性能断熱層の開発
	材料解析	教授	東郷 敬一郎	複合材料の強度・破壊とマイクロメカニクス, 材料強度学
		教授	坂井田 喜久	先進材(鉄鋼, セラミクス, 生体骨)の変形・破壊評価, 残留応力評価
		教授	星野 敏春	ナノマテリアル材料工学, 非晶質材料工学, 材料設計の計算科学
		教授	藤間 信久	高品質金属材料開発の理論的研究, 量子材料工学, 金属・合金の構造と物性
		教授	木村 雅和	高効率・高機能パワー半導体デバイスに関する研究, パワーデバイスのパルスパワー応用に関する研究
		准教授	島村 佳伸	複合材料工学, 材料強度学, 材料力学
		准教授	矢代 茂樹	複合材料の成形シミュレーションの開発, 構造ヘルスマニタリング
	計測情報	教授	三浦 憲二郎	形状モデリング, コンピュータグラフィックス
		教授	川田 善正	ナノフォトニクス, バイオフォトニクス, 光計測, 3次元顕微光学, 光物理
		教授	岩田 太	走査型プローブ顕微鏡, 光応用計測, 精密機器学
	知能ロボット	教授	金子 透	マシン・ビジョン, 画像処理
		准教授	伊藤 友孝	ロボット制御, 人間と機械の協調, ヒューマン・マシン・インタフェース
		准教授	山下 淳	ロボット工学・画像処理工学
	メカトロニクス	教授	鳥居 孝夫	機械・構造物の振動解析, 福祉機器の開発
		教授	大岩 孝彰	精密機構, 精密計測, パラレルメカニズム, パラレルロボット
		准教授	朝間 淳一	ベアリングレスモータ, 磁気軸受, 磁気浮上システム
	生産加工	教授	△鈴木 康夫	切削加工を中心とする除去加工に関する研究
		教授	橋口 原	半導体マイクロマシーニング, バイオナノ応用デバイス
		教授	田中 繁一	フレキシブルな塑性加工, レーザ援用成形, 超微粒子積層造形
		准教授	酒井 克彦	環境調和型生産, 新素材の精密加工
		准教授	早川 邦夫	塑性加工における素材・工具の変形・損傷・破壊の評価

専攻	分野	教員		研究内容
電気電子工学	電気エネルギー	教授	永津 雅章	大面積プラズマ装置開発, プラズマ医療応用, プラズマCVD, マイクロ波応用
		教授	野口 敏彦	パワーエレクトロニクス
		准教授	松本 隆宇	高電圧工学, 電力計測工学
		准教授	河本 映	小規模電力系統における分散電源利用, 太陽・風力エネルギー
		准教授	清水 一男	マイクロプラズマによる大気環境・室内環境浄化の研究, マイクロプラズマの医療応用, その他応用研究
		准教授	関川 純哉	電気接点におけるアーク放電・接触現象, プラズマ理工学
		准教授	荻野 明久	プラズマ化学反応制御によるナノ物質創製と機能化
		助教	松尾 廣伸	住宅・建築物・温室の省エネルギー化, 自然エネルギー利用, 電力応用
	電気システム	教授	△小楠 和彦	光エレクトロニクス, 特に光導波路及び光回路, 非線形光デバイス
		教授	犬塚 博	デジタル信号処理技術を応用したデジタル計測システムの開発
		教授	道下 幸志	環境電磁工学, 雷放電工学, 電磁界計測
		准教授	橋本 岳	視覚情報処理, 画像計測, 環境計測技術
		准教授	李 洪譜	光ファイバデバイス, 非線形光学, 光情報処理
		准教授	片山 仁志	ロバスト制御とその応用
		准教授	和田 忠浩	無線ネットワーク, デジタル無線通信, 誤り訂正技術
	電気電子材料	教授	江間 義則	光電変換に関する電子材料及び素子
		教授	喜多 隆介	酸化物高温超伝導体の作製および評価, ナノ構造制御による薄膜材料の高機能化
		教授	立岡 浩一	シリサイド半導体の成長・評価及びデバイス応用, 熱電及び光電素子用材料の開発, ナノ構造材料の作製と応用
		教授	早川 泰弘	光電子材料の作製とデバイス応用, 微小重力環境下における半導体結晶成長, 結晶成長その場観察, 超伝導体の作製
		准教授	木下 治久	ダイヤモンド状炭素膜のプラズマCVD, その炭素膜の太陽電池, 電子放出素子への応用
		准教授	小南 裕子	環境対応医療光源発光デバイスの開発に関する研究, 照明及びディスプレイ用発光材料に関する研究
		准教授	岡部 拓也	強相関電子系の磁性と超伝導に関する研究
	電子物性工学	教授	石田 明広	IV-VI族半導体レーザ・量子井戸, GaN系超格子・サブバンド間遷移デバイス, 熱電材料・物性
		教授	田部 道晴	半導体単一電子・単一光子デバイスの作製と応用
		教授	中本 正幸	真空ナノテクノロジー, NEMS, FED, カーボンナノチューブ, 宇宙用電気推進エンジン・ナノデバイス, 電力・周波数変換デバイス, 電界電子放出機構
		教授	以西 雅章	半導体薄膜, 酸化物薄膜の結晶成長と工学的応用 (Li二次電池, 光触媒用薄膜, 薄膜酸素センサ)
		准教授	高野 泰	Si基板上化合物半導体結晶成長, 太陽電池, 半導体レーザ
		准教授	村上 健司	エネルギー変換機能材料の開発と電子デバイスへの応用及び材料のナノスケール解析
		准教授	池田 浩也	半導体量子構造を利用した単電子制御デバイスおよび高効率熱電変換デバイスの開発
		准教授	井上 翼	カーボンナノチューブ応用, ナノマテリアル, 半導体工学
		准教授	田村 了	カーボンナノチューブ等ナノ構造物の電子状態
		准教授	古門 聡士	物性理論: 電気伝導, 磁性, 電子状態, ナノ材料, スピンエレクトロニクス
		准教授	根尾 陽一郎	真空電子デバイス, 電界放射・イオン顕微鏡
		助教	中野 貴之	半導体結晶成長技術を用いた光機能デバイスの開発
		光・波動エレクトロニクス	教授	廣本 宣久
	教授		天明 二郎	酸化物系薄膜並びにグラフェン系構造の作製とグリーンテクノロジー展開
	教授		三村 秀典	微小電子源の光・電子デバイス応用, 微小共振器付蛍光体, 有機ナノファイバの製作と光デバイスへの応用
	教授		江上 力	光情報処理, 3次元光メモリ, レーザ顕微鏡
	教授		坂田 肇	ファイバレーザシステム, 光機能デバイス, 光センシング
	准教授		庭山 雅嗣	光生体計測(筋肉や脳の酸素濃度計測, 血流計測), 医用光学
	准教授		渡邊 実	光情報処理, 集積回路工学, 宇宙デバイス, 光電子融合デバイス, リコンフィギュラブルデバイス
	助教		富木 政宏	光導波型デバイス, 自己形成光導波路, 熱光学スイッチ
	情報処理システム		教授	△下平 美文
		教授	中井 孝芳	音声の分析と合成, デジタル信号処理
		教授	竹前 忠	循環器系の非観血計測
		教授	桑原 義彦	電波イメージング, ワイヤレス送電, ITS
教授		杉浦 敏文	脳内情報処理に関する研究, 脳内温度分布無侵襲計測, ストレス計測	
教授		川人 祥二	機能集積イメージセンサ, 不可視画像センサ, Mixed-signal集積回路	
教授		猪川 洋	ナノデバイスを用いた回路・システム集積化の研究	
准教授		大橋 剛介	画像情報処理, 画像内容検索, 画像センシング	
准教授		大内 浩司	通信方式, スペクトル拡散技術, 誤り訂正技術	
講師		立蔵 洋介	音・聴覚情報処理	
助教		羽多野 裕之	無線技術応用(レーダ, 通信), 高度交通システム, レーダネットワーク	

専攻	分野	教員	研究内容
物質工学	材料科学	教授 小林 健吉郎	量子機能薄膜の合成と評価
		教授 田坂 茂	高分子の電気的・光学的性質, 廃プラスチックリサイクル
		教授 鈴木 久男	化学溶液法によるセラミック薄膜及びナノ粒子の創製(磁性体、誘電体、導電体、新エネルギー関連材料)
		教授 依田 秀実	微量生命維持物質構築のための新方法論開発と合成戦略, 新しい化学酵素設計と生命反応論の解明
		教授 原 和彦	新規発光材料開発と, ディスプレイおよび可視・紫外光源デバイスへの応用
		教授 脇谷 尚樹	気相法による革新的ナノ電子セラミックスの創成(磁性体、誘電体、導電体、新エネルギー関連材料)
		教授 前田 康久	機能材料の電気化学および光電気化学, 光触媒・光電極プロセス
		教授 久保野 敦史	有機分子凝集体(液晶, 蒸着重合高分子薄膜)の高次構造と電子・光物性
		准教授 △田中 昭	ワイドギャップ半導体の液相成長とデバイス応用
		准教授 戸田 三津夫	分子認識化学, 高圧有機合成, 佐鳴湖浄化
		准教授 田中 康隆	リチウムイオン電池の電解質合成と機能評価, 分子デザイン, 有機合成化学, 電気化学
		准教授 川井 秀記	有機光機能(発光)材料の開発とその応用
		准教授 奥谷 昌之	光機能性薄膜の形成と応用
		准教授 下村 勝	有機無機ハイブリッドナノ構造の形成, 表面上における分子の自己組織化に関する研究
		准教授 杉田 篤史	高分子の光学的性質, 非線形光学効果の応用技術
		准教授 富田 靖正	新規固体イオニクス材料の開発と評価
		准教授 間瀬 暢之	グリーンケミストリーに基づいた環境調和型有機合成反応の研究
		准教授 高橋 雅樹	次世代光デバイス創製のためのナノ分子システムの設計と構築, 新しい光機能性材料の開発
		助教 河野 芳海	有機化合物と無機ホストとの複合体を主に用いた光機能性材料の開発
		助教 松田 靖弘	高分子溶液学, 高分子物理化学
	助教 坂元 尚紀	無機材料工学, 薄膜工学	
	助教 仙石 哲也	生命現象にかかわる天然有機化合物の合成研究	
	化学システム工学	教授 須藤 雅夫	環境改善技術とエネルギー変換に関する電気化学システムと膜プロセス
		教授 佐古 猛	超臨界流体を用いる環境保全・グリーンケミストリーの研究
		教授 木村 元彦	化学工学の医用工学, 福祉工学への応用
		教授 福原 長寿	資源・エネルギー利用の効率化を可能とする多機能性触媒反応システムの開発と応用
		教授 昆野 昭則	色素増感型太陽電池の開発, 有機電気化学
		教授 金原 和秀	有用環境微生物の獲得とバイオプロセスへの利用, 微生物機能の解明とバイオインフォマティクスによるプロセス制御に関する研究
		准教授 松田 智	環境浄化の技術とシステム, 環境中での遺伝子・微生物モニタリング技術, リサイクルやバイオマス利用のLCA評価
		准教授 二又 裕之	微生物生態系の解明, 汚染環境修復および微生物燃料電池に関する研究
		准教授 武田 和宏	プロセスシステム工学, プロセスにおける意思決定支援
		准教授 立元 雄治	乾燥技術および流動層をはじめとした粉体のハンドリング
准教授 入山 恭寿		新型蓄電池に関する基礎研究	
准教授 孔 昌一		超臨界流体拡散機構の解明と環境負荷低減技術への応用	
准教授 前澤 昭礼		光酸化, 超音波, オゾンによる難分解性有機物含有廃水処理	
講師 武石 薫	ジメチルエーテル(DME), 水素などクリーンエネルギーに関連した環境保全のための触媒研究		
助教 岡島 いづみ	亜・超臨界水又はアルコールを用いるプラスチックリサイクルやバイオマス廃棄物の資源化技術に関する研究		
工学基礎	教授 梅本 宏信	化学気相堆積過程の基礎的理解と応用	
	教授 東 直人	環境触媒化学, 工学導入実習教材の開発	
	教授 植田 一正	複合物性を示す有機材料の構築とその物性評価	
	准教授 △生駒 修治	粘土鉱物の合成・改質による機能化, 吸着剤としての複合酸化物の合成と評価, 水溶液中の重金属捕集材としての生物試料の利用	
	准教授 平川 和貴	DNAおよび生体機能物質の光化学, がん光治療の基礎研究	

専攻	分野	教員		研究内容
システム工学	システム工学	教授	△新妻 清三郎	視覚情報処理の研究
		教授	泰中 啓一	環境変動と生態系、複雑系のパターン形成、生物進化とゲーム理論
		教授	大坪 順次	非線形フォトニクス,情報フォトニクス,ナノフォトニクス
		教授	竹内 康博	非線形現象の構造と機能の解析, 数理生物学
		教授	△相田 一夫	光ファイバ計測技術,光増幅器,光ネットワークのための要素技術
		教授	浅井 秀樹	高速伝送設計のための計算機援用工学およびアナログ回路の最適設計
		教授	末長 修	人間の制御特性に基づく人間-機械系の設計
		教授	吉村 仁	最適性理論及びゲーム理論のダイナミクス, 進化生物学
		教授	海老澤 嘉伸	ヒューマンインターフェース装置の開発, 眼球運動の心理物理実験
		教授	中島 伸治	光・画像情報処理及びその光計測への応用
		教授	関谷 和之	非線形計画問題に対するアルゴリズム開発とその応用
		教授	宮原 高志	ライフサイクルアセスメントを用いた環境影響評価
		教授	近藤 淳	弾性波や光表面波の解析及びセンサ・アクチュエータへの応用
		准教授	瀬野 忠愛	環境保全・修復技術の開発, 粒子法シミュレーション
		准教授	前田 恭伸	環境情報システム, リスク分析
		准教授	林 康久	弾性波動の非破壊検査への応用
		准教授	佐藤 一憲	確率論的動的システム及び非線形モデルの解析, 数理生態学
		准教授	宮崎 倫子	現象に潜む非線形解析, タイムラグをもつ微分方程式
		准教授	甲斐 充彦	音声言語情報処理, 音声言語システムとインタフェース応用
		准教授	石原 進	コンピュータネットワーク, モバイルコンピューティング
	准教授	安藤 和敏	最適化理論, 離散数学	
	講師	守田 智	複雑なシステムの構造とダイナミクスの解析, 非線形物理学	
	助教	王 龍標	音声信号処理	
	応用数学	教授	明山 浩	多様体上の確率的力学系の研究, 超準解析
		教授	菊地 光嗣	偏微分方程式の解の構成とその性質
		准教授	関根 義浩	作用素環論・作用素論
		准教授	星賀 彰	非線形波動方程式の解の挙動についての研究
		准教授	足達 慎二	変分的手法による非線形楕円型方程式の研究
		准教授	中島 徹	幾何学的変分問題の解の特異性の研究